

(別添資料1)

事業所名

練馬区立こども発達支援センター
(放課後等デイサービス)

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

1日

法人（事業所）理念		練馬区立こども発達支援センターは、障害を持つこどもが自立した生活を送るために必要な支援をご家族と相談しながら提供します。 また、地域の関係者と連携し、地域全体で障害児の福祉の向上を目指します。					
支援方針		1 療育を通してこどもの発達を促し、本来の力を発揮できるよう支援します。 2 保護者やご家族がこどもを適切に理解し、こどもの発達を喜びあえるように、分かりやすい情報提供や丁寧な相談支援を行います。 3 こどもが身近な地域で必要な支援が受けられるよう幼稚園、保育園、事業所などへの地域支援を行い、地域全体のエンパワメントに取り組みます。					
営業時間		8時	30分から	17時	30分まで	送迎実施の有無	なし
本人支援	健康・生活	グループ活動の中で、自分の身体の状態や気持ちを適切に表現したり、生活体験を発表したりする練習を行っています。					
	運動・感覚	簡単な工作活動を楽しみながら、手指の巧緻性や力の加減、見本や図面との照合などの活動に取り組んでいます。					
	認知・行動	①個別に心理検査を実施し、認知、学習面の特徴や課題を把握するとともに、本人の得手不得手をわかりやすく説明し、現在の課題を共有するようにしています。 ②センター医師とも情報を共有し、プログラム作成や目標設定に役立てています。					
	言語 コミュニケーション	数人のグループ活動の中で、ゲーム、物の貸し借り、テーマに沿った意見発表、言葉使いや話すタイミングの練習、自分の気持ちと他児の気持ちの違いに気付いて折り合いをつける練習などを行っています。					
	人間関係 社会性	ゲームをヒントにしたプログラムなども取り入れて、相手の動きを見ながら相手の意図や作戦を考えてコミュニケーションを図るなど、楽しみながら適切な対人関係のスキルを学べるようにしています。					
家族支援		毎回のプログラム終了時に、その日の内容と次回の課題のねらいを伝えて、保護者と目標を共有しています。				移行支援	心理検査の結果や学校訪問時の情報を基に、本人に対して得手不得手などを説明し、進級後の学校生活や地域生活の広がりに対応できるよう支援しています。
地域支援・地域連携		インクルージョン推進を目的として学校訪問を行い、グループワークのねらいと個別の課題の説明をし、学校からの相談に乗るなど、情報共有・連携を進めています。				職員の質の向上	療育前は活動のねらいや支援内容を、療育後はこどもの反応や保護者からの質疑を担当職員全員が共有しています。また、職員の関わり方についても振り返りを行うなど質の向上に向けた取組をしています。
主な行事等		①ひな祭り、端午の節句、七夕、クリスマス、正月など季節の行事を取り入れて、日本の文化と楽しさを伝える機会としています。 ②遠足や近隣へのお散歩、バス乗車体験なども行っています。 ③支援ツール展示会、サポートブック作成講習会なども保護者支援の一環として行っています。					